



# 忘れがち、実は使えていない Dreamweaverの便利機能

## Sector in the sector is a sector is a sector in the sector is a sector





#### 「好きなAdobeは、Dreamweaver」



<sup>セミナー講師</sup> 森和恵 @r360studio



- 0. まず、はじめに
- 1. CC 2017 Myワークスペース
- 2. CSSを調べる、組む
- 3. 複数ページを管理する

### 0. まず、はじめに…

### Dreamweaverは、総合ツールセットです

- エディターではありません
- コーディング機能のほか
   データ管理や連携するツールの集合体です

## **Dreamweaver**が気になるみなさんへ

- 基礎力(HTMLやCSS)が前提
- コーディングが苦手な人へ
   勉強を始めたとき、Dreamweaverが補助します
- 経験豊富なあなたへ
   Dreamweaverの便利な機能を発見して
   愛用のエディターと併用してみませんか?

### さぁ、始めましょう

### **1. CC 2017 Myワークスペース** Slide



#### ワークスペース=画面レイアウト

Dw ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) ツール(T) 検索(D) サイト(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)					
	コポ 分割 ラゼ 🔻				
🗈 🗅 📥 🖶 💛 🖓 🛱 🗇	d de la companya de la	← → C file:///Cl/Users/KazueMori/Desktop/demo2/cssr ∨			
** ファイル 挿入 CSS デザイナー DOM ■ 合 demo ~ Uーバーを定義	cspage-f.html ×         ×           0         50         120         200         1250         100         1400         1500         1500         1600         1650         1700           □         新規 div タグの内容がここに入ります         新規 div タグの内容がここに入ります         新規 div タグの内容がここに入ります         100         100         150         100	demo - C¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2¥csspage-f.html 750 800 850 900 950 1000 1050 1100			
□ ーカルファイル ↑ > ➡ サイト - demo (C:¥Users¥KazueMori¥Desktop¥d back.html csspage-f.html csspage.html	Image: state of the	ダブルクリックして <b>決定時</b> 生			
C	<ul> <li>1 k!doctype html&gt;</li> <li>2 ▼<html></html></li> <li>3 ▼<head></head></li> <li>4 <meta charset="utf-8"/></li> <li>5 <title>CSSデザイナーとDOMパネルでページを組む</title></li> <li>6 <meta content="aaa" description"="" name="viewport"/></li> <li>8</li> <li>9 ▼<style type="text/css"></style></li></ul>				

CC 2017 私のワークスペース

#### CSS デザイナー $\equiv$ すべて 現在 + - ソース: <style> すべてのソース <style> + — @Media : グローバル グローバル ( max-width : 500px ) + - セレクター .box .wrapper + ー プロパティ ☴ 🖉 … 🔽 セットを表示 品 レイアウト width : <u>300</u> px height : <u>100</u> px ☑ 背景 background-color : 🗾 #F8EF9D … その他 フロパティを追加 : 値を追加 すべて:ドキュメント全体のルールを一覧表示します

26 }	
27	
28	
29	
30 <b>▼<body></body></b>	> [head]
31▼ <div class="wrapper"></div>	~ body>
32 <div class="box">新規 div タグの内容</div>	✓ div .wrapper
33▼ <div class="box">新規 div タグの内容</div>	div .box
34 <div class="box">新規 div タグの内容</div>	+ div .box
35	div .box
36	
37	
38	
body div .wrapper div .box	
	-

#### CSSデザイナー・DOM パネル





ファイルパネル



🖌 ローカルビュー リモートサーバー テストサーバー

▼ファイルを管理するパネル ローカルは「手元の保存先フォルダ」 リモートは「ウェブサーバー」 テストは「開発のためのウェブサーバー」

### ファイルパネル ビューの切り替え



#### ファイルパネル FTP操作



#### ファイルパネル 同期



#### ライブビューとコードビューのアセットパネル



#### アセットとファイル[クローク]の関係



#### アセットとファイル[クローク]の関係





#### .box {width: 300px;height: 200px;background-color: #F1F188;}







<b>Dw</b> ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿	入(I) ツール(T) 検索(D) サイト(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(ト	H) r360studio - 🗘 - 🗆 🗙
	コード 分割 ライブ 👻	
🗈 🗅 📥 📥 🖶 😕 🛱	5 C	♦ ♥ C file:///CI/Users/KazueMori/Desktop/demo2/csst ∨
・・ ファイル 挿入 CSS デザイナー DOM ■ ~ html	Csspage-f.html × L3 Dackground-color: demo - C:¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2¥csspage	demo - C:¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2¥csspage-f.html #F8EF9D; e-f.html
+. > head ~ body	15 ▼.wrapper { 16 display: flex:	

### [ドキュメント]・[標準]ツールバー

<b>Dw</b> ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入	ヽ(I) ツール(T) 検索(D) サイト(S) ウィンドウ(W) ヘル	プ(H) r360studio - 🗘 🗕 🗆 🗙
	コード 分割 ライブ 🔻	
🛛 🗅 📥 📥 🖶 😕 👘		← → C file:///C /Users/KazueMori/Desktop/demo2/cssr ∨
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Csspage-f.html × L 3 2 DACK <u>ground</u> -Color demo - C:¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2¥css	demo - C¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2¥csspage-f.html
+ > head > body	15 ▼.wrapper { 16 display: flex:	

### [ドキュメント] ツールバー

<b>Dw</b> ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入	入(I) ツール(T) 検索(D) サイト(S) ウィンドウ(W)	ヘルプ(H) r360studio - ☆ - □ ×
	コード 分割 ライブ 👻	
📙 🗅 📥 🖶 😕 👘	5 C	Interpretation of the state
** ファイル 挿入 CSS デザイナー DOM ■	Csspage-f.html × L3 DACKground-Cou demo - C:¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2 15 Wrapper {	demo - C:¥Users¥KazueMori¥Desktop¥demo2¥csspage-f.html OT: #F8EF9D; 2¥csspage-f.html
~ body>	16 display: flex:	





#### タブをポイントすると、ファイルの場所が表示



#### ビジュアルメディアクエリーバー

### ビジュアルメディアクエリーバー





#### ビジュアルメディアクエリーバー

## 2. CSSを調べる、組む Demo



# CSSを調べる Demo

- 他者が作成したwebページのCSSを調べて、変更する
- ・ [インスペクト]モードに切り替える
- CSSデザイナーパネルの[現在]を使う



#### 今回デモで作業するWordPressページ

## 動的生成ページの編集(テストサーバー)

- ・ サーバーで動くWordPress(PHP)のテーマ(CSS)を変更
- ライブビューで、ローカルサーバーのアドレスを表示
   <u>http://localhost/wp</u>(←今回のWordPressインストールURL)
- ・ ローカルフォルダのCSSファイル(style.css)を書き換える
- ・ チェック後、サーバーにアップロードして反映



- <div>にクラスセレクタを指定し、ページをレイアウト
- CSSデザイナーパネルで、クラスセレクタを組む
- DOMパネルで、HTMLを追加してセレクタを指定
- 今回作るのは、3カラムのFlexboxレイアウト display: flex; justify-content: space-around;

すべて 現在	D,	メディアクエリーを追加するには、ルーラーの「▼Jアイコンをクリック			
+ - y-2: <style></style>					

#### 今回作成するflexboxレイアウト

## 3. 複数ページを管理する Demo



## 複数ページで共通部分を管理する

- ・ テンプレート … ページ外観の共有部分を管理
- ライブラリ…コンテンツの共有部分を管理
- スニペット…よく利用するコードを登録



#### Dreamweaverテンプレート



Dreamweaverライブラリ

### テンプレートとライブラリの作成

#### ※まず、デザインビューに切り替えます

## テンプレート作成手順

- 1. HTMLを変換 [ファイル]-[テンプレートとして保存]
- 2. 編集可能領域の作成 [挿入]-[テンプレート]-[編集可能領域]
- 3. テンプレートを適用し、ドキュメントを新規作成 [ファイル]-[新規]のダイアログ



#### テンプレートを用いて、新規ドキュメント

アセット 🔳					
テンプ	レート				
■ ③ ③ ■	説明文				
□ □ ボタン	ボタン				
名前 ↑	サイズ ニー				
templete	2KB /Te				
適用	C 🗗 🕨 🏛				

アセットの[テンプレート]

テンプレート一覧が表示

- 既存ファイルに適用
- テンプレートを編集

## ライブラリ作成と挿入手順

- 1. 該当箇所を選択
- **2. ライブラリの作成** [ツール]-[ライブラリ]-[ライブラリにオブジェクトを追加]
- **3. ライブラリの挿入** [アセット]の[ライブラリ]から挿入



アセットの[ライブラリ]

#### ライブラリー覧が表示

- ドラッグで挿入
- ライブラリを編集

<meta name="viewport" content="width=device-width"> <meta name="description" content=" > <meta property="og:type" content="article" /> <meta property="og:title" content=""> <meta property="og:description" content=""> <meta property="og:url" content="http:/ • • • .com/"> <meta property="og:image" content="http:// • • • .com/"> <meta name="twitter:card" content="summary\_large\_image"> <meta name="twitter:site" content="@ • • • ">

#### スニペットによく使うコードを登録



#### [スニペット]パネル

スニペット一覧が表示

コードを選択し、
 [新規スニペット]で登録

## スニペットのトリガーキー

#### [トリガーキー]を入力後、[tab]キーで挿入



### …もう少し、続きます

## チェック系機能

#### リンクチェック

#### [サイト]-[サイトオプション]-[サイト全体のリンクチェック]

×			<<
リン	クチェック		
	表示 : 破損リンク > 壊れたリンク		
	ファイル 🕈	破損リンク	
	Dw /1.html	r360study.png	
	Dw /3.html	r360study.png	
<b>•</b>	Dw /Templates/templete.dwt	/r360study.png	
	合計 13、HTML 7、単独 2 48 全リンク,45 O	、3 破損,0 外部	

## チェック系機能

#### リンクチェック

#### [破損リンク]・[外部リンク]・[単独ファイル]

×	**
リンクチェック	
表示: 🗸 破損リンク 皮れたリンク	
▶ ファ- <b>外部リンク</b> 磁損リンク	
■ /1 単独ファイル r360study.png	
w /3.html r360study.png	
Templates/templete.dwt/r360study.png	
合計 13、HTML 7、単独 2 48 全リンク, 45 OK, 3 破損, 0 外部	

## チェック系機能

#### **バリデート** [ファイル]-[ドキュメント]-[現在のドキュメント(W3C)]

※インターネット回線が必要

W3C バリデーター通知
ドキュメントを検証のために W3C サービスへ送信します。 <u>W3C とは?</u> <u>利用規約</u>
<ul> <li>このダイアログを今後表示しない</li> <li>ヘルプ</li> <li>OK</li> <li>キャンセル</li> </ul>

>	<			**
	検証			
		ファイル/URL	行	詳細
制		🛕 snipet.html	19	An img element must have an alt attribute, except under certain
0				
Ĭ (	i			
部	-			
σĽ				
(				
- 0				
		現在のドキュメントのバリ	デートが完了しま	した [ エラー 1 件、警告 0 件、非表示 0 件 ]
	~			

#### ▼<body> これは、スニペット用ファイルです。 <img src="img/r360study.png" width="180" height="254"/> </body>

```
<<
検証
    ファイル/URL
                   行
                       詳細
    snipet.html
                       An img element must have an alt attribute, except under certain ...
                   19
i
                      詳細
             行
H
              19
                      An img element must have an alt attribute, except
3
 「現在のドキュメントのバリデートが完了しました [ エラー 1 件、警告 0 件、非表示 0 件 ]
VIICUU/
<body>
これは、スニペット用ファイルです。
<img src="img/r360study.png" width="180" height="254"/>
</body>
```



#### CC 2017 で、大幅な変更がされました ※コードビュー時に動作

検索	サイト	ウィンドウ	ヘルプ	
検索	/置換			ЖF
次を	検索			ЖG
前を	検索			企業G
すべ	て検索し	て選択		^羰G
選折	範囲に次	の候補を追加		^泼R
スキ	ップして	選択範囲に次の	D候補を追加	^\_₩R

ソースコード style2.css			
ボタン		<ul> <li>◆ 検索対象: 現在のドキュメント ~ フィルター: Aa * ジ M T</li> <li>1/5</li> </ul>	
置換		置換 すべて置換 □ 例外	
14 🔻	<ul></ul>		
15	<li><a href="#"><mark>ボタン</mark></a></li>		
16	<li><a href="#"><mark>ボタン</mark></a></li>		
17	<li><a href="#"><mark>ボタン</mark></a></li>		
18	<li><a href="#"><mark>ボタン</mark></a></li>		
19	<li><a href="#"><mark>ボタン</mark></a></li>		
20			

### キーワード入力後、リアルタイムで動作





## 正規表現を用いて検索

HTMLコメント文をすべて選択 <!--.\*+





ソースコード style2.css			
*- .*\n 置换	<ul> <li>◆ 検索対象: 現在のドキュメント &gt; フィルター: Aa .★ )) ⋈</li> <li>1/6</li> <li>置換 すべて置換 □ 例外</li> </ul>		
<pre>1 <!DOCTYPE html>    </pre>			
2 ▼ <html></html>			
3 ▼ <head></head>			
<pre>4 <meta charset="utf-8"/></pre>			
5 ▼ TemplateBeginEditable name="doctitle"			
<pre>6 <title>r360studio</title></pre>			
<pre>7 <!-- TemplateEndEditable--></pre>	TemplateEndEditable		
<pre>8 <link href="/style2.css" rel="stylesheet" style2.css"="" type="text/css"/></pre>			
<pre>9 <!-- TemplateBeginEditable name="head" -</pre--></pre>	TemplateBeginEditable name="head"		
<pre>10 <!-- TemplateEndEditable--></pre>			
11			

### まとめ



- 0. まず、はじめに
   ▼Dreamweaverとは?・利用の前提
- CC 2017 おすすめMy設定
   ▼ワークスペース・各パネルの役割
- 2. CSSを調べる、組む ▼CSSデザイナーやDOMパネルの使い方
- 2. 複数ページを管理する
   ▼テンプレート・ライブラリの使い方

## 「使える!と感じた機能、ありましたか?」





## 古いコードを捨て、進化しても **『らしさ』は、忘れないで**

《コードを直接見なくても、ちゃんと感じながら ビジュアル確認をメインに制作を進める》

それがDreamweaverのよいところだと私は考えます



# ありがとうございました @r360studio

< Special Thanks > Illustration by @hazakumi